

## 令和4年度 工事仕様書・設計内訳書

工事名称 工事成績優良業者対象工事  
 工事場所 八木会館外壁ほか改修工事  
 明石市大久保町八木208  
 工期 契約の翌日から、令和5年2月22日まで  
 技術者等 現場代理人：他工事との「兼務可」  
 主任又は監理技術者：「非専任」

課長	担当課長	担当課長	係長	係長	精算者	担当(建築)	担当(電気)	担当(機械)
		/		/			/	/

1. 設計コード 04HA0400
2. 工事内容（・新築 ・増築 ・改築 ◎改修）
  - ・外壁の全面改修
3. 支払条件
  - ①前 金 払 当該会計年度の出来高予定額の40%以内
  - ②中間前金払 当該会計年度の出来高予定額の20%以内
  - ③部 分 払 令和4年度内2回以内
  - ④完 成 払 完成後、残額一括支払い
4. 特記事項
  - ①関係法令等を遵守し、必要な手続きを遅滞なく行うこと。また、これらに要する費用は、受注者負担とする。
  - ②省エネ、省資源、廃棄物の減量、リサイクルの推進等により、環境負荷の低減を図ること。
  - ③「産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例」の対象となる建設廃棄物の産業廃棄物処理業者への引渡し完了したときは、同条例第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督職員に提出すること。
  - ④引渡しまでに要する試験運転及び各試験等の費用は、受注者負担とする。
  - ⑤原則、日曜日、祝日及び夜間は、作業を行わないこと。  
学校園の工事では原則として、土曜日の校舎内での作業を行わないこと。
  - ⑥万一、事故や苦情が発生した場合には、速やかに対応するとともに、対応内容を記録し、監督職員に報告すること。
  - ⑦営繕課発行の「契約書・仕様書に基づく提出書類（工事編）」に基づき、必要書類を提出すること。
  - ⑧敷地内及び敷地周辺は、全面禁煙とする。
  - ⑨工事着工前に敷地内外（敷地内の既存建物、近接建物、道路等の構造物など）の撮影を行い、工事完成時に原状復旧が行われているか確認すること。
  - ⑩工事期間中は、必要に応じて交通誘導員を増員すること。
  - ⑪工程、仮設計画等の作成及び工事施工に当たっては、関係部局と十分に事前打合せを行い、施設の運営に支障が生じないように配慮すること。
  - ⑫本設計書は公共建築工事積算基準等（2022年1月1日時点の最新版）に基づき積算している。
  - ⑬公共建築（改修）工事標準仕様書（各工事編）に基づく「書面」は、署名又は押印されたもののほか、印字による記名も含むものとする。

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		







建築工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<防水改修>						
養生(防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	93	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	93	m <sup>2</sup>			
<外壁改修>						
養生(外壁改修)		160	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(外壁改修)		160	m <sup>2</sup>			
開口部養生(外壁改修)	合板張り養生	115	m <sup>2</sup>			
<外部足場等>						
外部足場(くさび又は枠組, 手すり先行方式)	建枠900・600 10m未満 6ヶ月 最上部安全手すり 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	677	m <sup>2</sup>			
外部足場(くさび又は枠組, 手すり先行方式)	建枠900・600 10m未満 2ヶ月 最上部安全手すり 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	87	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災I類 6ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	677	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災I類 2ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	87	m <sup>2</sup>			
足場廻り進入防止メッシュシート貼り	足場外周H1.8m(足場下部直張り) 足元巾木、6ヶ月	149	m <sup>2</sup>			
足場廻り進入防止メッシュシート貼り	足場外周H1.8m(足場下部直張り) 足元巾木、2ヶ月	41	m <sup>2</sup>			
軒裏用仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下	13	m <sup>2</sup>			
計						

建築工事		防水改修工事			外部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
付属棟屋上 水洗い	高圧ポンプ 10～15MPa程度	44.6	m <sup>2</sup>			
付属棟屋上 防水下地調整	防水下地 厚15	44.6	m <sup>2</sup>			
合成高分子系 ルーフィングシート防水	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし シート材共	44.6	m <sup>2</sup>			
防水層端部・立上 り水切り塩ビ鋼板		26.9	m			
庇・バルコニー 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面	48.8	m <sup>2</sup>			
庇・バルコニー 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り	9.3	m <sup>2</sup>			
腰 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り	45.1	m <sup>2</sup>			
庇・バルコニー上配管 等シヤッキアップ		1	式			
防水保証標識	アクリル板200×150×t3.0エッチング文字	1	か所			
アルミ建具廻りシ ーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10 水切取合い共	310	m			
金物・水切取合い シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	56	m			
防水端末取合い シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	6	m			
アルミ笠木撤去	仮撤去 保管共	110	m			
アルミ笠木仮撤去復 旧	既設 アルミ笠木 110m	1	式			
付属棟 塩ビ軒樋(角型)	前高型,幅120mm SUS受金物・継手共	7.5	m			
付属棟 硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カ)	径75 呼び樋共	3.8	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カ)	径75 呼び樋共	49.6	m			
養生管	SGP101.6 φL=1,500	12	m			
シーリング撤去	集積共	372	m			
たてどい撤去	VP管 集積共	49.6	m			



建築工事		外壁改修工事		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	仕上塗材改修・腰モルタル面	830	m <sup>2</sup>			
既存塗膜面高压温水洗淨	30～50MPa程度 劣化部除去	665	m <sup>2</sup>			
既存モルタル仕上面・RC素地面水洗い	高压ポンプ 10～15MPa程度	92	m <sup>2</sup>			
【仕上塗材石綿含有建材除去】						
外壁仕上塗材・下地調整材除去	湿潤材併用超音波剥離工法	74	m <sup>2</sup>			
飛散養生	最下層、最上部 ポリシート	1	式			
飛散防止材塗布		74	m <sup>2</sup>			
粉塵測定費	施工前、施工中、施工後 各2箇所/2H測定	6	か所			
除去材運搬費	石綿含有産業廃棄物	1	台			
除去材処分費	石綿含有産業廃棄物	1	m <sup>3</sup>			
施工管理費	安全管理費共 主任技術者常駐	1	式			
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	アンカーピン 16本/m <sup>2</sup>	127	m <sup>2</sup>			
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	アンカーピン 25本/m <sup>2</sup> 剥落防止ネット貼併用	45	m <sup>2</sup>			
欠損部エポキシ樹脂モルタル充てん工法 (箇所)	300～400mm角程度, 欠損及び露筋 深さ 50mm程度	50	か所			
欠損部エポキシ樹脂モルタル充てん工法 (箇所)	500～600mm角程度, 欠損及び露筋 深さ 50mm程度	30	か所			
自動式低圧樹脂注入工法	ボルトシリング工法同等 ひび割れ幅1mm以下 壁厚150mm程度	30	m			
Uカットシーリング材充填工法	10×10mm, シーリング材, 樹脂モルタル仕上	30	m			
ピンネット工法	モルタル塗仕上	190	m <sup>2</sup>			



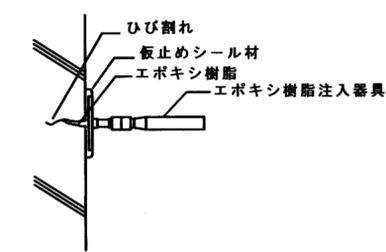
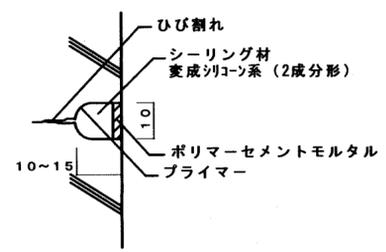
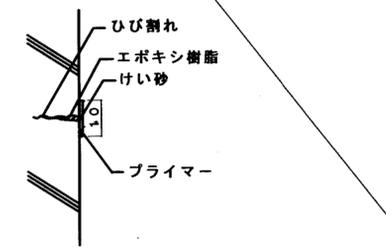
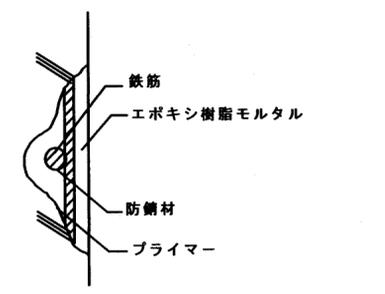
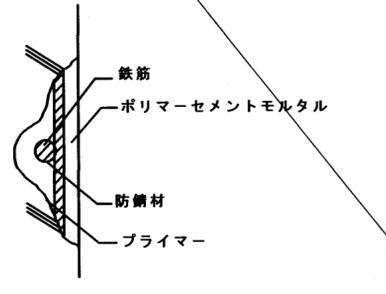




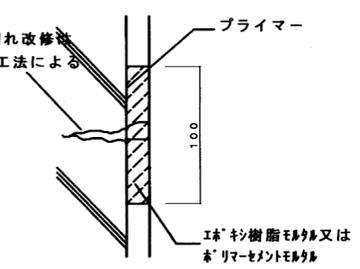
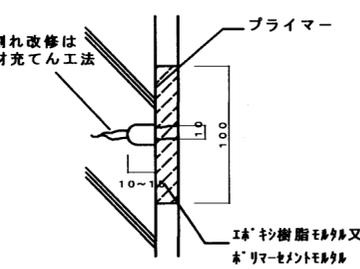
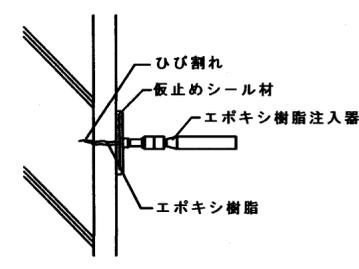
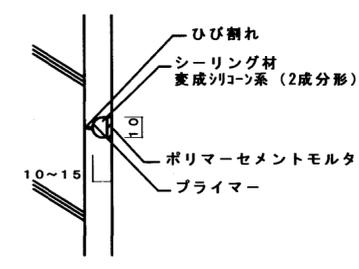
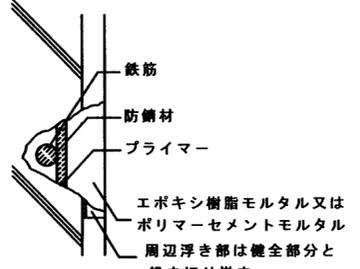
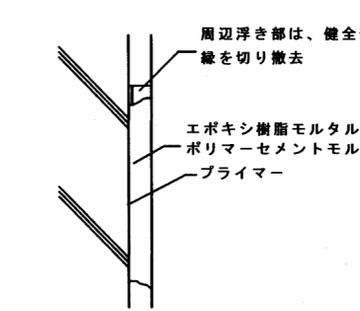
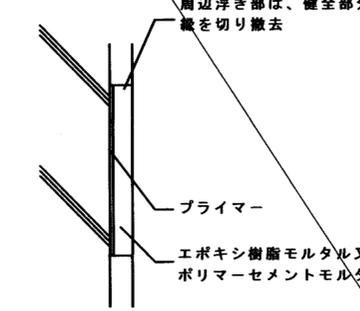
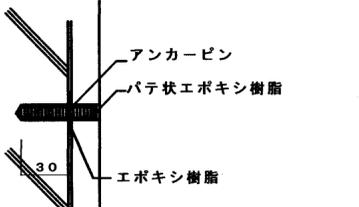
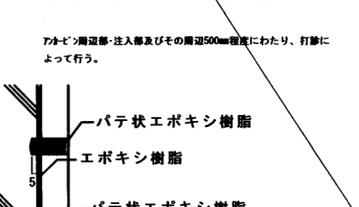




○ コンクリート打ち放し仕上げ外壁

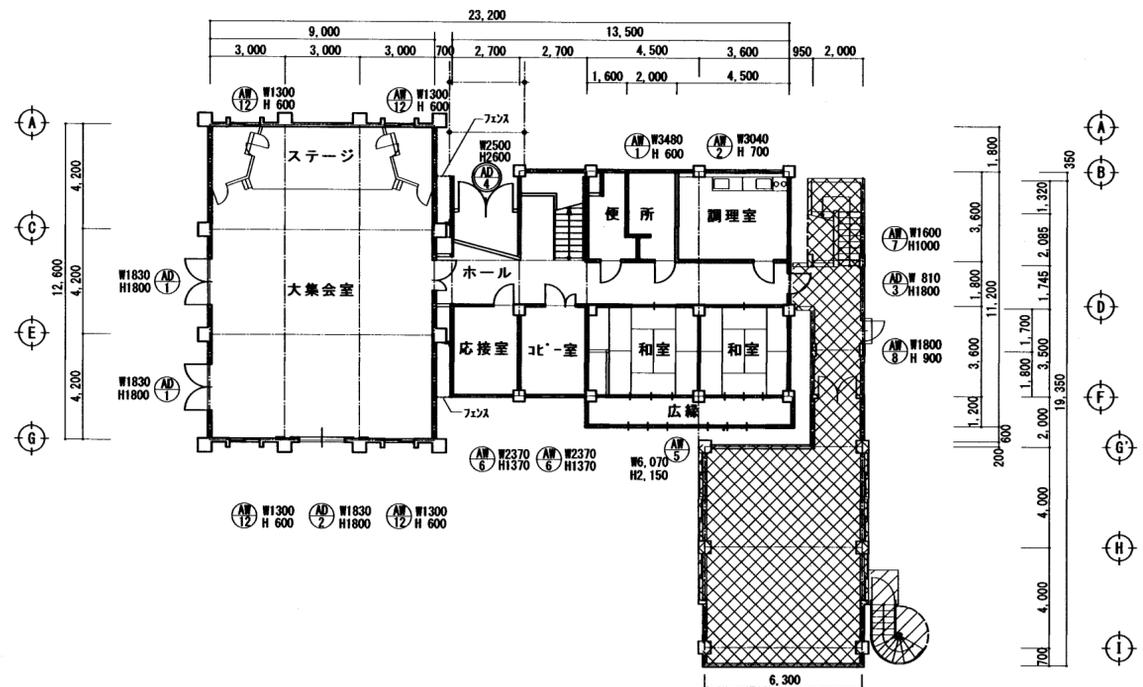
① ひび割れ部（樹脂注入工法）	② ひび割れ部（Uカット・樹脂材充填工法）	③ ひび割れ部（シール工法）	④ 欠損部（充てん工法）	
<p><b>① 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</b></p> <p>① 汚れの除去 ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを削除する。</p> <p>② マーキング 注入孔位置を200～300mm間隔でチョーク等でマーキング。</p> <p>③ 注入パイプ取付 注入器具または台座を、ひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。</p> <p>④ 仮止めシール ひび割れに沿って仮止めシール材をパテヘラ等で幅30mm、厚さ2mm程度にシールする。</p> <p>⑤ エポキシ樹脂注入 エポキシ樹脂の注入。注入圧を4kgf/cm<sup>2</sup>以下として注入。</p> <p>⑥ 養生 完了後は、注入器具を取り付けたまま養生を行う。</p> <p>⑦ 清掃 硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を撤去し清掃する。</p> <p>⑧ 検査 コア抜き取りにより行い、ひび割れ長さ500mmまでは3個、それを超える場合は500mm毎又はその端数につき1個のコアを採取し、形状は径50mm・長さ70mmとする。</p> 	<p><b>② シーリング用材料充填工法</b></p> <p>① Uカット ひび割れに沿って電動カッター等で幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。</p> <p>② 溝内の清掃 Uカット溝内部に付着している切片・粉塵等は、ワイヤーブラシ等で除去する。</p> <p>③ プライマーの塗布 プライマーを溝内部に塗り残しの無い様均一に塗布する。</p> <p>④ サンプリング 2成分形シーリング材を用いる場合は、各ロット毎にサンプリングを行う。</p> <p>⑤ シーリング材充填 シーリング材を充填し、へらで押さえ、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。</p> <p>⑥ シーリング材充填 シーリング用材料の上にポリマーセメントモルタルを充填する場合は、シーリング用材料の先端は、コンクリート表面から3～5mm程度低めに充填する。</p> <p>⑦ ポリマーセメントモルタル塗り ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面にあわせて平滑に塗り込む。</p> <p>⑧ 養生 降雨等からについても養生し、硬化後は充填部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。</p> 	<p><b>③ 可とう性エポキシ樹脂シール工法</b></p> <p>① 汚れの除去 ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを削除する。</p> <p>② プライマー塗布 プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。</p> <p>③ シール ひび割れに沿って可とう性エポキシ樹脂をパテヘラ等で幅10mm、厚さ2mm程度に塗布する。</p> <p>④ けい砂の散布 補修部の上に仕上げ塗材・塗料等を施工する場合は、充填後、表面にけい砂を散布する。</p> <p>⑤ 養生 硬化するまでは、降雨等からも養生する。</p> <p>⑥ 清掃 補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。</p> 	<p><b>④ エポキシ樹脂モルタル充填工法</b></p> <p>① 欠損部下地調整 欠損部周辺の脆弱部分をハンマー等で取り除き、部分的に露筋している部分は、健全部が露出するまでコンクリートをはつきり、けれんにより筋を除去し、防錆処理を行う。</p> <p>② プライマー塗布 プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。</p> <p>③ 砂樹脂モルタル充填 プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充填し、表面を金ごてで加圧しながら平滑に仕上げる。</p> <p>④ 養生 仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。</p> <p>⑤ 清掃 補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。</p> <p>⑥ 検査 充填材の仕上がり状態及び硬化状態を目視及び指触により確認し、承諾を受ける。</p> 	
<p><b>⑤ 欠損部（充てん工法）</b></p> <p><b>⑤ ポリマーセメントモルタル充填又は塗付け工法</b></p> <p>① 欠損部下地調整 欠損部周辺の脆弱部分をハンマー等で取り除き、部分的に露筋している部分は、健全部が露出するまでコンクリートをはつきり、けれんにより筋を除去し、防錆処理を行う。</p> <p>② プライマー塗布 プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。</p> <p>③ ポリマーセメントモルタル充填 はがれの状況により、1～3層に分けて充填又は塗り付ける。各層の脱層厚は7mm程度とし、表面を金ごてで加圧しながら平滑に仕上げる。</p> <p>④ 養生期間の養生 各層共、急激な乾燥は避け、適切な養生を行う。</p> <p>⑤ 清掃 補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。</p> <p>⑥ 養生 硬化するまでは、降雨等からも養生する。</p> <p>⑦ 検査 充填材の仕上がり状態及び硬化状態を目視及び指触により確認し、承諾を受ける。</p> 				
<p>特記事項 ・図中 ③・⑤ は、地震災害復旧工事においては、単独では適用しない。</p>	<p>課長 藤 担当課長 高橋 係長 井</p> <p>明石市都市局住宅・建築室営繕課</p>	<p>製作年月日 2022年7月</p>	<p>工事名称 工事成績優良業者対象工事 八木会館外壁ほか改修工事</p> <p>図面名称 外壁改修仕様(1) 縮尺 —</p>	<p>内 3 全業 9</p>

○ モルタル塗り仕上げ外壁

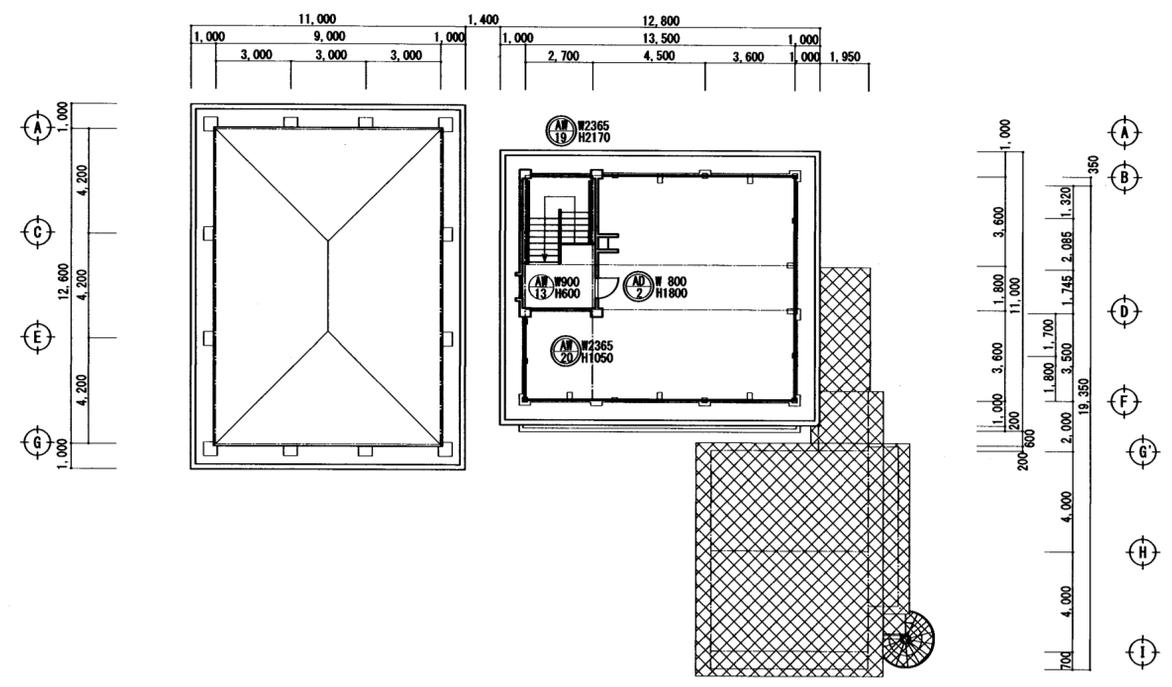
⑥ ひび割れ部 (モルタルを撤去する場合/躯体①, モルタル塗替)	⑦ ひび割れ部 (モルタルを撤去する場合/躯体②, モルタル塗替)	⑧ ひび割れ部 (モルタルを撤去しない場合/樹脂注入工法 (=1))	⑨ ひび割れ部 (モルタルを撤去しない場合/Uカット・シル材充填工法 (=2))	⑩ 欠損部 (躯体・モルタル塗替/充てん工法)
<p>⑥ ひび割れ部を撤去する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① モルタルの撤去</li> <li>② ひび割れの確認</li> <li>③ ひび割れ部の改修</li> <li>④ 下地面の清掃</li> <li>⑤ ひび割れ部の修繕</li> </ol> <p>ひび割れを中心に幅100mm程度のモルタルを「ヤドバク」等で健全部分と線を切り、はつり撤去する。 撤去後、露出したひび割れを確認する。 コンクリート躯体の改修は、○樹脂注入工法①による。 デッキブラシ等で水洗いを行う。 欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填(塗替)工法⑤に準ずる。</p>  <p>躯体のひび割れ改修は ① 樹脂注入工法による。</p>	<p>⑦ モルタルを撤去する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① モルタルの撤去</li> <li>② ひび割れの確認</li> <li>③ ひび割れ部の改修</li> <li>④ 下地面の清掃</li> <li>⑤ ひび割れ部の修繕</li> </ol> <p>ひび割れを中心に幅100mm程度のモルタルを「ヤドバク」等で健全部分と線を切り、はつり撤去する。 撤去後、露出したひび割れを確認する。 コンクリート躯体の改修は、○Uカット・シル材充填工法②による。 デッキブラシ等で水洗いを行う。 欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填(塗替)工法⑤に準ずる。</p>  <p>躯体のひび割れ改修は ② Uカット・シル材充てん工法による。</p>	<p>⑧ ひび割れ部の改修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ひび割れ部の改修</li> </ol> <p>○樹脂注入工法①による。</p> 	<p>⑨ ひび割れ部の改修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① Uカット</li> <li>② 溝内の清掃</li> <li>③ プライマーの塗布</li> <li>④ サンプリング</li> <li>⑤ シーリング材充填</li> <li>⑥ 樹脂モルタル塗替</li> <li>⑦ 養生</li> </ol> <p>シーリング用材料充填工法 ひび割れに沿って電動カッター等で幅10mm程度、深さ10~15mm程度にU字型の溝を設ける。 Uカット溝内部に付着している切片・粉塵等は、ワイヤーブラシ、はけ等で除去する。 プライマーを溝内部に塗布し残りの隙間均一に塗布する。 2成分型シーリング材を用いる場合は、各ロット毎にサンプリングを行う。 シーリング材料の充填は、コンクリート表面から3~5mm程度低めに充填し、へらで押さえ、下地と密着させて表面を平らに仕上げとする。 ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面にあわせて平滑に塗り込む。 降雨等からについても養生し、硬化後は充填部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。</p> 	<p>⑩ 欠損部の改修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 周辺モルタルの撤去</li> <li>② 下地面の清掃</li> <li>③ ひび割れ部の修繕</li> </ol> <p>欠損部周辺のモルタル浮き部分は、「ヤドバク」等で健全部分と線を切り、はつり撤去する。 デッキブラシ等で水洗いを行う。 欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填(塗替)工法⑤に準ずる。</p> 
<p>⑪ 欠損部 (モルタル塗替のみ/モルタル塗替)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 欠損部の改修</li> <li>② 周辺モルタルの撤去</li> <li>③ 下地面の清掃</li> <li>④ ひび割れ部の修繕</li> </ol> <p>欠損部周辺のモルタル浮き部分は、「ヤドバク」等で健全部分と線を切り、はつり撤去する。 デッキブラシ等で水洗いを行う。 欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填(塗替)工法⑤に準ずる。</p>  <p>周辺浮き部は、健全部分と線を切り撤去</p>	<p>⑫ 浮き部 (モルタル塗替)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① モルタルの撤去</li> <li>② 下地面の清掃</li> <li>③ ひび割れ部の修繕</li> </ol> <p>モルタル浮き部分は、「ヤドバク」等で健全部分と線を切り、はつり撤去する。 デッキブラシ等で水洗いを行う。 欠損部の面積が、1箇所当たり、0.25㎡未満の場合は、○充填工法④、0.25㎡以上の場合は、○充填(塗替)工法⑤に準ずる。</p>  <p>周辺浮き部は、健全部分と線を切り撤去</p>	<p>⑬ 浮き部 (ピンニング)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 浮き部の確認</li> <li>② アネーリングの穿孔</li> <li>③ 孔内の清掃</li> <li>④ 樹脂充填</li> <li>⑤ アネーリングの挿入</li> <li>⑥ 養生</li> <li>⑦ 清掃</li> <li>⑧ 検査</li> </ol> <p>アネーリング部分に樹脂注入工法 ヤドバク等により浮き部を確認し、アネーリング等の位置を明示する。 構造体コンクリート中に、30mm程度の深さまで穿孔する。 孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉を除去する。 エポキシ樹脂を、挿入孔の最深部より徐々に充填する。 アネーリングのネジ切り部分に樹脂を塗布してからアネーリングを最深部まで挿入する。 挿入後は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。 仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。 注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する。 全数テストハンマーの打診により行う。</p> 	<p>⑭ 浮き部 (ピンニング)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 浮き部の確認</li> <li>② アネーリングの穿孔</li> <li>③ 孔内の清掃</li> <li>④ 樹脂充填</li> <li>⑤ アネーリングの挿入</li> <li>⑥ 養生</li> <li>⑦ 清掃</li> <li>⑧ 検査</li> </ol> <p>アネーリング全面に樹脂注入工法 ヤドバク等により浮き部を確認し、アネーリング等の位置を明示する。 構造体コンクリート中に、30mm程度の深さまで穿孔する。 孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉を除去する。 エポキシ樹脂を、挿入孔の最深部より徐々に充填する。 アネーリングのネジ切り部分に樹脂を塗布してからアネーリングを最深部まで挿入する。 挿入後は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。 仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。 注入孔の穿孔を、構造体20ヶ所中に、5mm程度の深さまで行う。 エポキシ樹脂を、残存浮き部に打診しながら注入する。 注入後は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。 注入後、3日間養生を行う。 アネーリング周辺部・注入部及びその周辺500mm程度にわたり、打診によって行う。</p> 	<p>⑮ 浮き部 (ピンニング)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 浮き部の確認</li> <li>② アネーリングの穿孔</li> <li>③ 孔内の清掃</li> <li>④ 樹脂充填</li> <li>⑤ アネーリングの挿入</li> <li>⑥ 養生</li> <li>⑦ 清掃</li> <li>⑧ 検査</li> </ol> <p>アネーリング全面に樹脂注入工法 ヤドバク等により浮き部を確認し、アネーリング等の位置を明示する。 構造体コンクリート中に、30mm程度の深さまで穿孔する。 孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉を除去する。 エポキシ樹脂を、挿入孔の最深部より徐々に充填する。 アネーリングのネジ切り部分に樹脂を塗布してからアネーリングを最深部まで挿入する。 挿入後は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。 仕上げ後、夏期では15時間以上、冬期では24時間以上養生を行う。 注入孔の穿孔を、構造体20ヶ所中に、5mm程度の深さまで行う。 エポキシ樹脂を、残存浮き部に打診しながら注入する。 注入後は、パテ状エポキシ樹脂で仕上げる。 注入後、3日間養生を行う。 アネーリング周辺部・注入部及びその周辺500mm程度にわたり、打診によって行う。</p> 
<p>特記事項 ④・⑤に準ずるとするのは、④・⑤の工程から①を除いたものとする。</p>	<p>担当 係長</p>	<p>製作年月日 2022年7月</p>	<p>工事名称 工事成績優良業者対象工事 八木会館外壁ほか改修工事</p>	
<p>明石市都市局住宅・建築室営繕課</p>	<p>担当 係長</p>	<p>図面名称 外壁改修仕様(2)</p>	<p>縮尺 全業 9</p>	







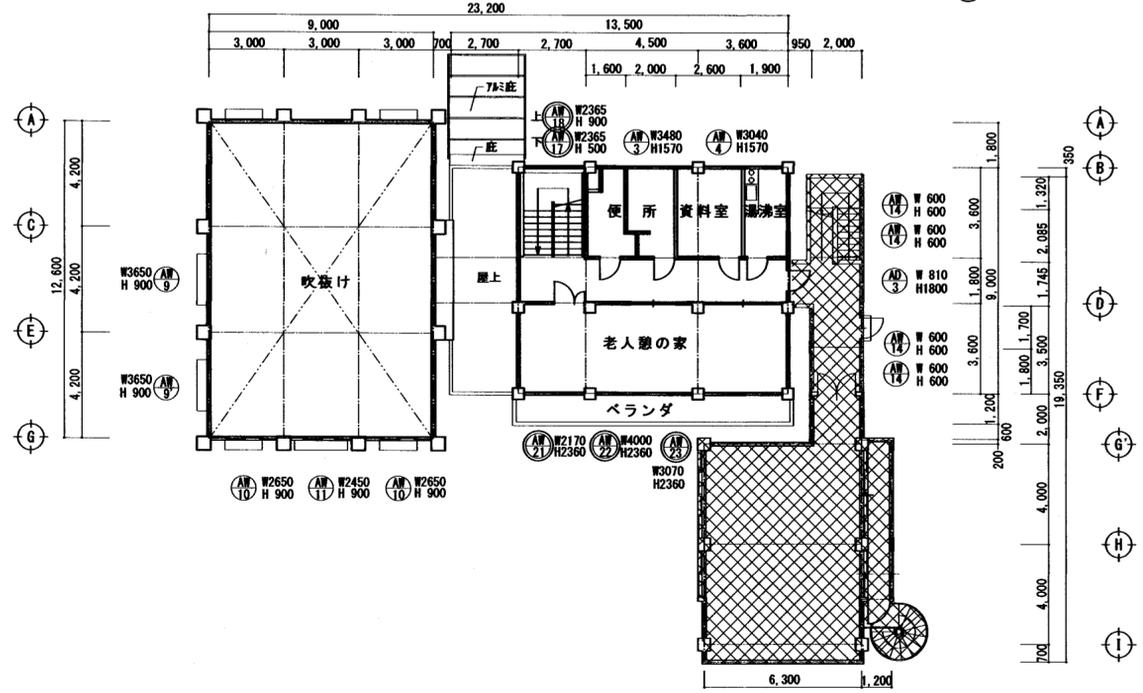
1階平面図 1/200



屋上平面図 1/200

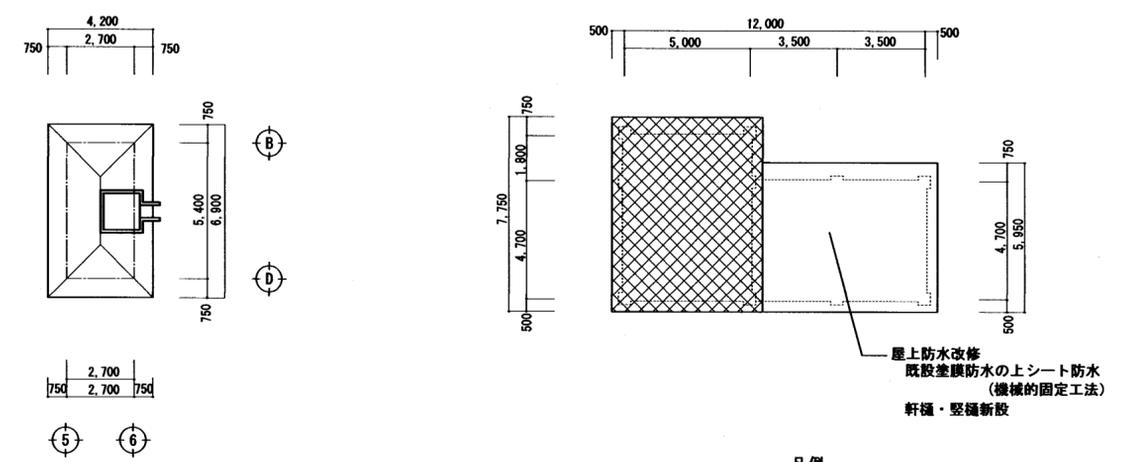
- 凡例
- : 工事範囲外
  - : 既存在来工法のサツを示す
  - : 既存加'-工法のサツを示す

- 凡例
- : 工事範囲外
  - : 既存在来工法のサツを示す
  - : 既存加'-工法のサツを示す



2階平面図 1/200

- 凡例
- : 工事範囲外
  - : 既存在来工法のサツを示す
  - : 既存加'-工法のサツを示す

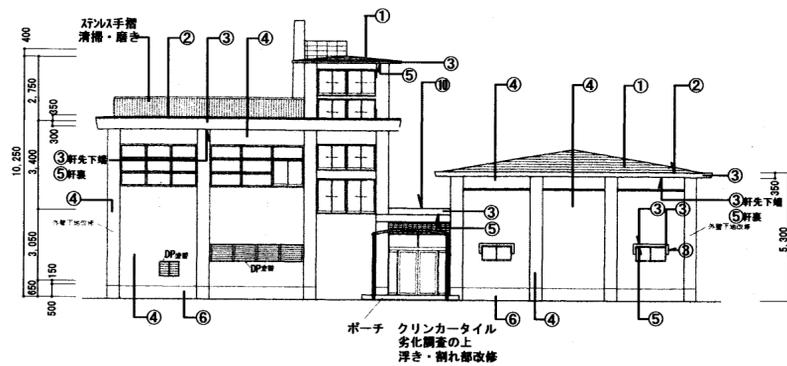


階段室屋根伏せ図 1/200

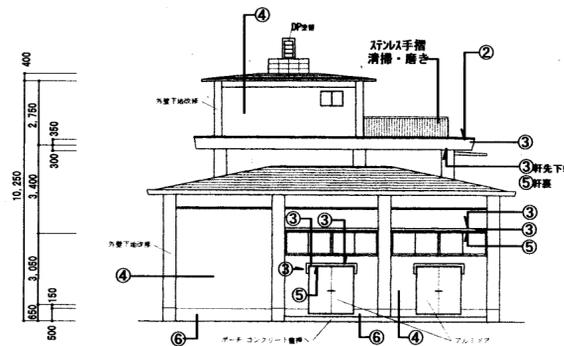
付属棟屋根伏せ図 1/200

- 凡例
- : 工事範囲外

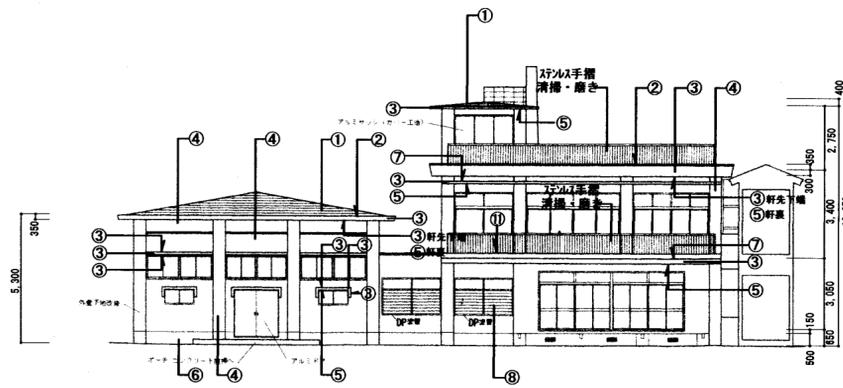
特記事項	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日	工事名称 工事成績優良業者対象工事 八木会館外壁ほか改修工事	内	7
		2022年7月	図面名称 平面図	縮尺	全業 9



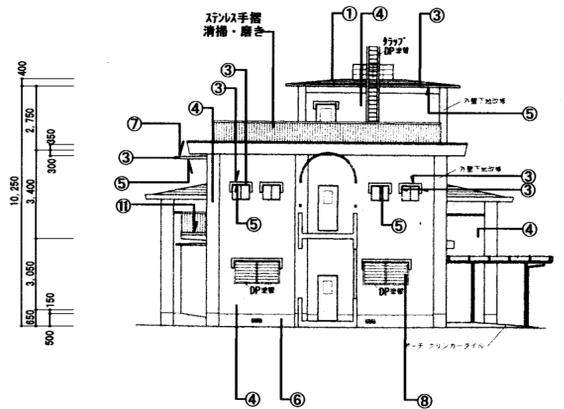
北側立面図 1/200



西側立面図 1/200



南側立面図 1/200



東側立面図 1/200

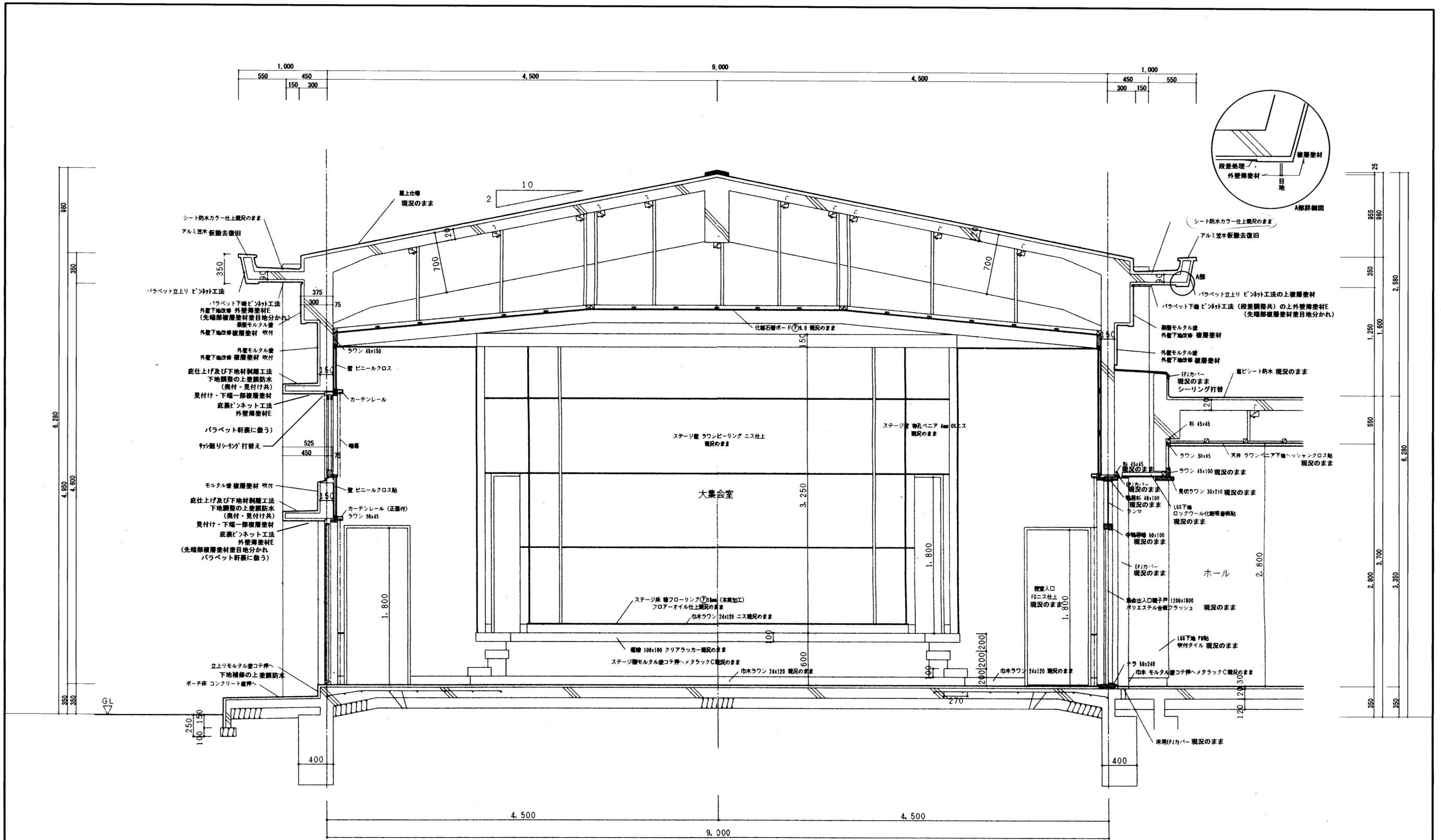
外壁改修 参考数量表	
改修内容	数量
外壁面事前調査 (目視・打診確認・マニグ・計測・図面・報告書提出)	830㎡
既存下地・仕上塗材7ｽﾊﾞｽﾄ含有材除去 (湿潤材併用超音波剥離工法) パラペット立上り及び軒裏一部・ 庇天端、見付け及び軒裏・庇垂れ壁及び下端	74㎡
既存塗膜面高圧水洗 (30~50MP・劣化部除去)	665㎡
既存モルタル仕上げ面・塗膜防水面高圧水洗 (10~15MP汚れ除去)	92㎡
モルタル浮き部ｱﾙﾐﾝｸﾞ部分球状樹脂注入工法 (16穴/㎡)	127㎡
モルタル浮き部ｱﾙﾐﾝｸﾞ部分球状樹脂注入工法 (指定部分25穴/㎡)	45㎡
欠損部球状樹脂モルタル充填工法 (モルタル欠損部・300~400口×t50程度/ヶ所)	50箇所
欠損部球状樹脂モルタル充填工法 (モルタル欠損部・500~600口×t50程度/ヶ所)	30箇所
ひび割れ部エポキシ樹脂低圧注入工法	30m
ひび割れ部Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法	30m
外壁・軒裏ピンネット工法	190㎡
既存仕上塗材面下地補修 (CM-2・ｶｯﾌﾟ系)	549㎡
塗膜防水下地面下地補修 (C-2・ｶｯﾌﾟ系)	92㎡
外壁複層塗材E	601㎡
軒裏外装薄塗材E	127㎡
庇・ﾊﾞﾙｺﾆｰﾓﾙﾀﾙ防水 (X-2) 平場	48.8㎡
庇・ﾊﾞﾙｺﾆｰﾓﾙﾀﾙ防水 (X-2) 立上	9.3㎡
腰壁ｶﾙｼﾝｸﾞ防水 (X-2) 立上	45.1㎡
既存建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替え (MS-2・15×10) ※水切り目地共	310m
金物取合ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え (MS-2・15×10)	56m
縦樋取替え ｶﾞｰVP75φ	49.6m
縦樋養生管取替え SGP101.6φ l=1500 DP塗	8箇所
窓面格子・PHｸﾗｯﾌﾟ DP塗替え	17.7㎡

- 凡例 (既存仕上げを示す)
- ① シート防水
  - ② アルミ笠木
  - ③ 庇等モルタル塗下地メタラックCの上複層塗材Si (7ｽﾊﾞｽﾄ含有)
  - ④ 外壁モルタル塗下地ｱｸﾘﾙﾘｼﾝの上複層塗材Si
  - ⑤ 軒裏モルタル塗下地ｱｸﾘﾙﾘｼﾝの上複層塗材Si
  - ⑥ 腰モルタル塗り仕上げ
  - ⑦ 庇モルタル塗り下地 塗膜防水
  - ⑧ スチール製面格子
  - ⑨ 縦樋 VP EP塗
  - ⑩ モルタル塗り下地 シート防水
  - ⑪ バルコニーモルタル塗り下地 塗膜防水

特記事項・外壁の事前調査を行い監督員と協議の上、適切に補修・施工方法・施工数量等を精査し、施工のこと。  
・ピンネット工法は、コニシ製のポンドカーボンネット工法同等品とし、その他の材料と共に監督員の承諾の上、施工のこと。

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日	2022年7月	工事名称	工事成績優良業者対象工事 八木会館外壁ほか改修工事	内	8
図面名称	立面図	縮尺	1/200	全業	9



断面詳細図 1/30

特記事項					製作年月日	工事名称	内
					2022年7月	工事成績優良業者対象工事 八木会館外壁ほか改修工事	9
	明石市都市局住宅・建築室営繕課				断面名称	縮尺	全業
					断面詳細図	1/30	9